

国際教育研究拠点が対象とするテーマ

令和元年10月18日
座長 坂根 正弘

【福島にとって MUST なテーマをまず優先して考える】

- (1) 福島第一原発の廃炉の着実な実現と、これをいかに福島の雇用創出、活性化につなげていくかという視点でのテーマ
 - ①福島第一原発廃炉実現に必要な研究、技術、生産などの個別テーマのうち、福島第一原発の近くに所在した方がいい具体的なテーマ
 - ②今後の日本はもちろん、世界で需要の拡大する健全炉の廃炉事業は具体的にどんなものが考えられ、そのうち福島に研究、生産拠点を置くことができそうなもの（必要となるそれを実現するためのインセンティブは？）
 - ③将来、廃炉から生まれた技術の他分野への応用としてポテンシャルの大きいもの
例：ロボット、医療分野、宇宙ビジネスなど
 - ④世界が注目、関心をもって参画したくなるテーマ
 - ⑤他から、そして外国から福島に来て働く人のために必要なインフラ（住環境、交通、教育など）
- (2) 被災地復興としての住環境、教育、交通インフラ、健康維持、そして基幹産業として一次産業（農林水産）への先進的取り組み
 - ①出来る限り住民回帰、そして定住を促進するために必要なこと
 - ②一次産業の優先順位

国際教育研究拠点が対象とするテーマ

福島浜通り地域にとって必須のテーマ
(原子力災害に起因するもの)

関連発展分野の例

廃炉関係

廃炉

- JAEAの3センターの他、各大学や企業等で行われている研究・技術開発・生産等のうち、第一原発近傍に所在することが望まれるもの
- 健全炉等の廃炉に資する研究で第一原発近傍に所在することが望まれるもの

廃炉技術応用

- 廃炉に必要な技術の他分野への応用研究
 - ・**ロボット**(遠隔操作技術、放射線観測技術、センシング技術等)

ロボット産業
(ドローン等)

宇宙
(惑星探査等)

住民生活基盤関係

第一次産業

- 浜通り地域において基幹産業であった農業のスマート化等

放射線安全

- 健康・環境影響フォロー
- 風評・リスクコミュニケーション 等

健康医療
(放射線内用療法・健康医学)

再生可能エネルギー
(分散型エネルギー等)